

主 題	全国安全週間における安全パトロールを実施しました		
開催日	平成28年7月1日	主催	長崎労働基準監督署
パトロール実施者	長崎労働基準監督署、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	場所	長崎市坂本3丁目地内 九州新幹線(西九州)、新長崎トンネル(西)他工事現場

開催の目的(趣旨)、概要

長崎労働基準監督署(署長:池田康廣)では、全国安全週間(本週間:7月1日から同月7日まで)を契機とした建設現場における安全意識の高揚と自主的な安全管理活動の一層の推進のため、長崎市内で施工されている九州新幹線のトンネル工事現場について、発注者である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の長崎鉄道建設所と共に安全パトロールを実施しました。

なお、当署管内における建設業の休業4日以上労働災害は、5月末時点で28件発生し、前年同期と比べ3件の減少となっています。しかしながら、本年1月には、当署管内のトンネル建設工事現場にて、死亡災害が発生しています(別添「死亡災害一覧」を参照)。

概要

始めに長崎労働基準監督署長(署長:池田康廣)から「管内の建設業では、業界全体のご努力もあり、平成27年は前年に比べ2人減少している。しかしながら、本年1月に死亡災害が発生している。当署においては、第12次労働災害防止計画(別添)の目標達成に向けて取組みを継続し、アクションゼロ(別添)も実行していく。少なくともこの現場から労働災害が発生させないため、施工業者と発注者が一体となって労働災害防止対策の推進をお願いします。」と、挨拶しました。



(署長挨拶の様子)

その後、長崎労働基準監督署と発注者の長崎鉄道建設所は安全パトロールを行いました。安全パトロールでは、主に次の事項を点検・確認しました。

- (1) 切り羽等の落盤・肌落ちによる災害防止対策
- (2) 作業員と建設機械等との接触防止対策
- (3) 安全通路の確保、照度の確保
- (4) 粉じん障害防止対策として換気装置の設置、堆積粉じんの清掃
- (5) 電動ファン付き呼吸用保護具、バックプロテクター、耳栓等の保護具の使用
- (6) 緊急時の連絡体制の確保(非常電話の設置)



(安全掲示板を確認する様子)



(照度及び換気用ダクトを確認する様子)



(切り羽の状況を確認する様子)



(非常電話の設置を確認する様子)

安全パトロール終了後、発注者である長崎鉄道建設所の所長から「整理整頓など安全に十分に配慮された現場である。モデル工区として無事故で工事を進めてほしい」と講評がありました。

最後に長崎労働基準監督署長から「熱中症対策及び粉じん障害防止対策など好事例が多かった。今後も地山の点検や堆積粉じんの清掃等を実施し、労働災害防止対策に取り組んでほしい」と、講評しました。

長崎労働基準監督署では、震災復興事業等による人手不足及び資材高騰で、建設業における労働災害の増加が懸念されることから、関係機関と連携を図り、労働災害のない安全・安心な職場環境づくりに取り組んで参ります。